

イスラム原理主義武装勢力がアメリカと戦う原因は何か

～以下、書評「帝国の傲慢 上・下 (マイケル・ショワー<元米CIAテロ対策担当>著)」

<吉田文彦 (本社論説委員) 評> (朝日新聞 05.3.27) より～

(.....は省略部分)

.....「アメリカがアルカイダ率いる世界のイスラム原理主義武装勢力と戦争しているのは、アメリカの政策が原因」である.....。では、問題視される米国の政策とは何か。大別すると、パレスチナ問題があるにもかかわらず、イスラエル支持を続けていること▽アラビア半島に米国などの軍隊が駐留していること▽米軍がイラク、アフガニスタンに侵攻したこと▽反政府イスラム勢力を抑えるロシア、インド、中国を支持していること▽原油価格を低くするようアラブ産油国に求めていること▽腐敗したイスラム独裁政権を支持していること——の6点である.....。